



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場会社名 株式会社スズケン
 コード番号 9987 URL <http://www.suzuken.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 宮田 浩美
 (氏名) 小坂井 順生

上場取引所 東名札
 TEL 052-961-2331

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	532,863	4.6	273	△90.2	2,844	△45.4	1,074	△65.3
28年3月期第1四半期	509,355	—	2,790	—	5,214	—	3,095	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 1,975百万円 (△51.1%) 28年3月期第1四半期 4,040百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第1四半期	10.84	—
28年3月期第1四半期	31.22	—

(注) 平成29年3月期第1四半期より「仕入割引に関する会計方針の変更」を行っております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。なお、平成28年3月期第1四半期の数値につきましては、当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しているため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	1,138,351	391,759	34.4
28年3月期	1,178,386	393,948	33.4

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 391,271百万円 28年3月期 393,473百万円

(注) 平成29年3月期第1四半期より「仕入割引に関する会計方針の変更」を行っております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。なお、平成28年3月期の数値につきましては、当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	27.00	—	42.00	69.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	27.00	—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年3月期期末配当金の内訳 普通配当 27円00銭 記念配当 15円00銭

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	1,048,000	1.2	7,200	△27.2	12,000	△16.2	7,400	△18.9	74.65
通期	2,105,000	△5.5	19,900	△45.3	29,000	△36.6	18,500	△36.1	186.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成29年3月期第1四半期より「仕入割引に関する会計方針の変更」を行っております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。なお、通期の増減率及び第2四半期(累計)の増減率につきましては、平成28年3月期実績を当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を用いて算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	103,344,083 株	28年3月期	103,344,083 株
29年3月期1Q	4,209,330 株	28年3月期	4,209,271 株
29年3月期1Q	99,134,759 株	28年3月期1Q	99,138,683 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間より、仕入割引に関する会計方針の変更を行っており、以下の前期末および前年同四半期との比較については、当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を用いております。詳細は、4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、英国の欧州連合（EU）離脱問題に伴う為替および株価の大幅な変動など先行き不透明感があるものの、雇用・所得環境の改善や政府による経済政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調が続いております。

当社グループは中期成長戦略「One Suzuken 2016」の中期ビジョン達成に向けて邁進しております。特に中期ビジョン「日本に加えアジアにおけるOnly Oneビジネスモデルの確立」において、今後のアジア各国への事業展開を推進するため、平成28年4月にグローバル事業本部を設置するとともに、6月には韓国の医薬品卸売会社である㈱ポクサンナイスと資本業務提携を締結しました。既に進出している中国に加え、韓国医薬品流通業界の更なる発展に貢献してまいります。

また、「平成28年熊本地震」の被災により操業停止しておりました㈱三和化学研究所の熊本工場は、平成28年7月1日より全面復旧しております。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は5,328億63百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益は2億73百万円（前年同期比90.2%減）、経常利益は28億44百万円（前年同期比45.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億74百万円（前年同期比65.3%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（単位：百万円未満切捨て）

セグメントの名称		平成28年3月期 第1四半期累計期間	平成29年3月期 第1四半期累計期間	増減率(%)
医薬品卸売事業	売上高	485,729	510,361	5.1
	営業利益 又は 営業損失 (△)	1,033	△1,192	—
医薬品製造事業	売上高	16,521	16,535	0.1
	営業利益	1,061	1,612	51.9
保険薬局事業	売上高	24,322	23,928	△1.6
	営業利益 又は 営業損失 (△)	667	△103	—
医療関連サービス等事業	売上高	9,100	10,566	16.1
	営業利益 又は 営業損失 (△)	△37	88	—

(注) 1. セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高を含んでおります。

2. 前第1四半期の数値は、仕入割引に関する会計方針の変更による遡及適用後の数値になります。

(医薬品卸売事業)

医療用医薬品市場は、薬価改定および後発医薬品使用促進の影響があったものの、C型肝炎治療剤および抗悪性腫瘍剤の市場拡大により伸長したものと推測しております。

そのようななか、売上高は、薬価改定の影響があったものの、C型肝炎治療剤等の寄与により増収となりました。また、流通改善の取組みとして、個々の医療用医薬品の価値に見合った価格交渉を徹底し、適正利益の確保に注力しておりますが、カテゴリーチェンジに伴う物流量の増加および名南物流センター稼働による物流コストの増加などもあり、営業損失となりました。

顧客信頼度ナンバーワン戦略については、多様化・高度化するお得意さまニーズを把握し、それにお応えするため、営業・物流における効果・効率的なサービスの提供に取り組んでおります。

医療流通プラットフォームの強化については、平成28年4月に「名南物流センター」を稼働したことにより、お得意さまへの物流サービスの更なる向上と災害時においても安定的に医薬品を供給できるようBCP対応の更なる強化を図ってまいりました。

また、医薬品卸売事業のインフラ整備を推進し、グループ卸会社間のシステム統合を完了いたしました。

これらの結果、売上高は5,103億61百万円（前年同期比5.1%増）、営業損失は11億92百万円（前年同期は10億33百万円の営業利益）となりました。

なお、現時点における販売価格の未決定先は全体の79%であり、その先については、合理的見積価格としております。今後、価格決定に向けての厳しい価格交渉が予想されますが、引き続き適正利益の確保に向けた活動を徹底してまいります。

(医薬品製造事業)

売上高は、薬価改定の影響があったものの、糖尿病食後過血糖改善剤「セイブル錠」やDPP-4阻害剤「スイニー錠」、高尿酸血症・痛風治療剤「ウリアデック錠」など糖尿病関連商品を中心に販売促進に努めたことにより、前年同期並みとなりました。

営業利益は、販売費及び一般管理費において研究開発費の期ズレがあったことやその他費用の抑制に努めたことにより増益となりました。

これらの結果、売上高は165億35百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は16億12百万円（前年同期比51.9%増）となりました。

(保険薬局事業)

売上高は、M&Aや新規出店を進めたものの、平成28年4月の調剤報酬改定および薬価改定の影響により減収となりました。

営業利益は、減収の影響および薬剤師の確保に伴う人件費の増加により減益となりました。

これらの結果、売上高は239億28百万円（前年同期比1.6%減）、営業損失は1億3百万円（前年同期は6億67百万円の営業利益）となりました。

(医療関連サービス等事業)

売上高は、主に、メーカー支援サービス事業（医薬品メーカー物流受託・希少疾病薬流通受託）の受託が増加したことや、介護事業において、利用者が増加したことにより増収となりました。

営業利益は、メーカー支援サービス事業および介護事業における増収効果により増益となりました。

これらの結果、売上高は105億66百万円（前年同期比16.1%増）、営業利益は88百万円（前年同期は37百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ400億34百万円減少し1兆1,383億51百万円となりました。主な要因は以下のとおりであります。

流動資産は前連結会計年度末に比べ436億67百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が112億59百万円、商品及び製品が41億16百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が538億16百万円、有価証券が38億28百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ36億32百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が2億83百万円、無形固定資産が7億7百万円減少したものの、投資その他の資産が46億24百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ378億45百万円減少し7,465億92百万円となりました。これは主に、流動負債のその他が28億22百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が223億70百万円、未払法人税等が133億26百万円、賞与引当金が55億53百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ21億88百万円減少し3,917億59百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加が10億95百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益を10億74百万円計上したものの、剰余金の配当の支払が41億63百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成28年5月10日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(仕入割引に関する会計方針の変更)

当社グループは、従来より、商品の仕入代金を早期支払いすることにより受取る仕入代金の割引については、営業外収益の仕入割引として計上しておりました。しかし、仕入割引の金利が市場金利と乖離し仕入割戻としての性格が強まってきているという実態を踏まえ、また、後発医薬品の普及をはじめ、医療費の適正化に向けた政策等により大きな利益構造の変化に直面している中で、当社グループとしての利益管理のあり方について検討したことを契機に、今回の薬価改定時に医薬品メーカーとの取引における重要な要素であるリベート体系等の見直しを行う契約変更を当第1四半期連結会計期間の期首から実施しました。これに伴い当第1四半期連結会計期間から、従来営業外収益に計上していた仕入割引を仕入割戻として売上原価の控除項目とする方法に変更しております。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第1四半期累計期間の売上総利益及び営業利益が1,926百万円増加しておりますが、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は69百万円減少しております。

また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は150百万円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響については、9ページ「3. 四半期連結財務諸表(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	108,463	119,722
受取手形及び売掛金	566,628	512,812
有価証券	26,832	23,003
商品及び製品	143,996	148,113
仕掛品	3,063	3,285
原材料及び貯蔵品	2,399	3,324
その他	38,314	35,504
貸倒引当金	△2,310	△2,045
流動資産合計	887,388	843,720
固定資産		
有形固定資産	118,207	117,923
無形固定資産		
のれん	2,661	2,501
その他	18,574	18,026
無形固定資産合計	21,235	20,528
投資その他の資産		
投資有価証券	125,074	129,582
その他	27,063	27,180
貸倒引当金	△582	△583
投資その他の資産合計	151,555	156,179
固定資産合計	290,998	294,631
資産合計	1,178,386	1,138,351

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	712,478	690,108
短期借入金	270	332
未払法人税等	14,071	745
返品調整引当金	626	475
賞与引当金	9,860	4,307
その他	13,463	16,285
流動負債合計	750,770	712,254
固定負債		
長期借入金	90	22
役員退職慰労引当金	718	485
退職給付に係る負債	3,309	3,314
その他	29,548	30,514
固定負債合計	33,667	34,337
負債合計	784,437	746,592
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,546	13,546
資本剰余金	38,897	38,897
利益剰余金	312,539	309,302
自己株式	△12,157	△12,158
株主資本合計	352,825	349,588
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46,248	47,343
土地再評価差額金	△5,844	△5,697
為替換算調整勘定	544	356
退職給付に係る調整累計額	△300	△320
その他の包括利益累計額合計	40,647	41,682
非支配株主持分	475	488
純資産合計	393,948	391,759
負債純資産合計	1,178,386	1,138,351

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	509,355	532,863
売上原価	464,732	489,550
売上総利益	44,622	43,312
返品調整引当金戻入額	499	626
返品調整引当金繰入額	433	475
差引売上総利益	44,689	43,463
販売費及び一般管理費	41,899	43,190
営業利益	2,790	273
営業外収益		
受取利息	170	145
受取配当金	603	651
受入情報収入	1,349	1,387
その他	427	511
営業外収益合計	2,550	2,695
営業外費用		
支払利息	12	10
不動産賃貸費用	51	47
その他	62	65
営業外費用合計	126	124
経常利益	5,214	2,844
特別利益		
固定資産売却益	10	20
投資有価証券売却益	36	41
その他	9	0
特別利益合計	56	62
特別損失		
固定資産除売却損	35	50
減損損失	-	127
災害による損失	-	373
その他	7	42
特別損失合計	42	593
税金等調整前四半期純利益	5,228	2,313
法人税等	2,120	1,224
四半期純利益	3,108	1,088
非支配株主に帰属する四半期純利益	13	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,095	1,074

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	3,108	1,088
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	617	1,095
土地再評価差額金	23	-
為替換算調整勘定	△0	△18
退職給付に係る調整額	279	△19
持分法適用会社に対する持分相当額	12	△170
その他の包括利益合計	931	887
四半期包括利益	4,040	1,975
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,026	1,961
非支配株主に係る四半期包括利益	13	13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品 卸売事業	医薬品 製造事業	保険薬局 事業	医療関連 サービス等 事業	
売上高					
外部顧客への売上高	473,728	5,309	24,321	5,997	509,355
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,001	11,212	1	3,103	26,318
計	485,729	16,521	24,322	9,100	535,674
セグメント利益又は損失(△)	1,033	1,061	667	△37	2,724

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,724
セグメント間取引消去	65
四半期連結損益計算書の営業利益	2,790

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品 卸売事業	医薬品 製造事業	保険薬局 事業	医療関連 サービス等 事業	
売上高					
外部顧客への売上高	497,466	5,126	23,924	6,346	532,863
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,895	11,409	4	4,219	28,528
計	510,361	16,535	23,928	10,566	561,391
セグメント利益又は損失(△)	△1,192	1,612	△103	88	404

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	404
セグメント間取引消去	△131
四半期連結損益計算書の営業利益	273

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

4 ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する情報（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、仕入割引に関する会計方針の変更に伴い遡及適用しております。これにより、前第1四半期連結累計期間における「医薬品卸売事業」のセグメント利益は1,926百万円増加しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。